

特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒の

自立活動の指導に関する調査

【自閉症・情緒障害特別支援学級用】

《調査票記入にあたってのお願い》

● 本調査票に記入いただく方

本調査票は、自閉症・情緒障害特別支援学級を担任されている方（非常勤講師や支援員、介助員の方は含みません）にご記入いただくようお願いします。

● 本調査票返送の締め切り

同封の返信用封筒にて、平成 27 年 2 月 27 日（金）までにご返送いただくようお願いします。

● 情報の取り扱いと調査結果の公表について

調査結果については、学校名や個人名が特定できないように統計的な処理を行います。
また、調査結果のまとめは Web 上で公表します。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比 5-1-1

教育情報部総括研究員 佐藤 肇（研究代表）

TEL:046-839-6861（直通）

E-mail:hajime@nise.go.jp

教育情報部主任研究員 柳澤 亜希子（研究副代表）

TEL:046-839-6876（直通）

E-mail:yanagisawa@nise.go.jp

F A X 送信票

貴学級に自閉症のある児童生徒が在籍していない、あるいは当該学級が設置されていない場合は、本票をご返送ください。

送信日 月 日

【送信先】

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 教育情報部

佐藤 肇 宛

F A X ： 0 4 6 － 8 3 9 － 6 9 3 8

件名：「特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒の自立活動の指導に関する調査」（回答）

当該する項目にチェックをしてください。

- ☐ 本学級には、自閉症のある児童生徒は在籍していません。
☐ 本校には、自閉症・情緒障害特別支援学級は設置されていません。

【発信先】

学校名 _____

送信者名 _____

連絡先 _____

学校名及び連絡先、調査票にご回答いただく方のお名前をご記入ください。

学校名 及び 連絡先	都・道・府・県 立 小学校・中学校
	所在地： 電話番号： E-mail：
記入者氏名	

I. 貴校に設置されている特別支援学級についてお尋ねします。

1-1. 設置されている特別支援学級の有無をご回答ください。また、貴校に設置されている自閉症・情緒障害特別支援学級の「学級数」、「担任数」、「支援員、介助員など人数」をご記入ください。

学級種	設置の有無	学級数	担任数	支援員、介助員など人数
自閉症・情緒障害	有 ・ 無			
知的障害	有 ・ 無			
肢体不自由	有 ・ 無			
身体虚弱	有 ・ 無			
弱視	有 ・ 無			
難聴	有 ・ 無			
言語障害	有 ・ 無			

1-2. 担当されている学級に各学年の在籍児童生徒数をご記入ください。また、そのうち自閉症のある児童生徒の在籍数をご記入ください。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
在籍児童生徒数						
自閉症と医学的診断を受けている児童生徒数						
医学的診断はないが自閉症の可能性のある児童生徒数						

担任されている学級に自閉症のある児童生徒が在籍していない場合は、お手数ですが表紙裏のFAX送信票に必要事項をご記入のうえ、返送いただくようお願いします。
自閉症のある児童生徒が在籍していない場合は、次ページ以降の回答は不要です。

Ⅱ. 本調査票にご記入いただいている方の教員経験の有無とその年数、また、所有する免許状についてお尋ねします。

2-1. 教員経験年数、特別支援学級及び特別支援学校の経験の有無とその年数、自閉症のある児童生徒を担当した経験の有無とその年数をご記入ください。

注1) 経験年数は、切り上げて回答してください。

注2) 教員経験年数には臨時的任用教諭の経験は含めますが、非常勤講師(時間講師)の経験は含みません。

2-1-1. 教員経験年数	() 年
2-1-2. 特別支援学級の担当経験年数	() 年
2-1-3. 特別支援学級で自閉症のある児童生徒を担当した経験の有無と年数	() 1. 経験あり () 年 () 2. 経験なし
2-1-4. 特別支援学校の経験の有無と年数	() 1. 経験あり () 年 () 2. 経験なし
2-1-5. 特別支援学校で自閉症のある児童生徒を担当した経験の有無と年数	() 1. 経験あり () 年 () 2. 経験なし

2-2. 特別支援学校(養護学校)教諭普通免許状を保有していますか。該当する項目にマルを付けてください。

- () 1. 保有している
() 2. 保有していない

Ⅲ. 貴学級での自立活動の指導の実施状況についてお尋ねします。

3-1. 貴学級では、「自立活動の指導(障害による学習上又は生活上の困難の改善・克服を目的とした指導)」を行っていますか。該当する項目にマルを付けてください。

- () 1. 自立活動の指導の時間を週の時間割に位置づけて行っている
() 2. 自立活動の指導の時間を設けず各教科・領域の中に取り入れて指導している
() 3. 自立活動の指導を行っていない

3-1で「1. 自立活動の指導の時間を週時間割に設けて行っている」または「自立活動の指導の時間を設けず各教科・領域の中に取り入れて指導している」と回答された方

本調査票3～9ページの設問にご回答ください。

3-1で「3. 自立活動の指導を行っていない」と回答された方

本調査票10～12ページの設問にご回答ください。

3-3-4. 3-3-1で「2. 作成していない」と回答した方にお尋ねします。貴学級で自立活動の指導計画を作成していない理由として該当するものにマルを付けてください。

《複数回答可》

- () 1. 学校行事に応じて指導内容を決めるため
- () 2. 児童生徒の課題に応じて指導内容を決めるため
- () 3. 学期や月単位で指導の内容を区切れないため
- () 4. 教育活動全体で自立活動の指導を行っているため
- () 5. 前年度の指導計画を踏襲して使用しているため
- () 6. 自立活動の指導計画の立て方がわからないため
- () 7. その他 ()

3-4. 自閉症のある児童生徒の実態把握の方法についてお尋ねします。該当する項目にマルを付けてください。《複数回答可》

- () 1. 諸検査（心理検査や発達検査など）の実施
- () 2. 行動観察
- () 3. 各教科・領域の習得状況の把握
- () 4. （交流及び共同学習を行っている）通常の学級担任からの聞き取り
- () 5. 保護者からの聞き取り
- () 6. 自閉症のある児童生徒本人からの聞き取り
- () 7. 関係諸機関（特別支援学校や外部の専門家など）からの聞き取り
- () 8. その他 ()

3-5-1. 自閉症のある児童生徒の自立活動の指導内容を設定する際に留意していることは、何ですか。特に重視していることを3つ選択してマルを付けてください。

- () 1. 子どもの障害の状態
- () 2. 子どもの発達段階
- () 3. 子どもの生活経験
- () 4. 子どもの興味・関心
- () 5. 子どもの生活環境や学習環境
- () 6. 子どもの成長の見通しや卒業後の生活
- () 7. 子ども自身の要望
- () 8. （交流及び共同学習をしている）通常の学級担任の要望
- () 9. 保護者の要望
- () 10. 関係諸機関（特別支援学校や外部の専門家など）からの助言
- () 11. 学習指導要領に示されている内容
- () 12. 前年度や前任者が行った指導
- () 13. その他 ()

3－5－2. 自閉症のある児童生徒の自立活動の指導では、具体的にどのような内容を取り上げていますか。主に取り上げている指導内容を5つ選択してマルを付けてください。

- () 1. 衣服の着脱など日常生活習慣に関すること
- () 2. 生活リズムの確立に関すること
- () 3. 体調管理（食生活や健康）に関すること
- () 4. 公共機関や交通機関の利用に関すること
- () 5. 体の使い方、動かし方などの運動・動作技能に関すること
- () 6. 姿勢保持に関すること
- () 7. 手指の巧緻性^{ちゆうせいせい}に関すること
- () 8. 人や場所が変わっても行動できるようにすること
- () 9. 自分の気持ちを落ち着かせる方法
- () 10. 自分のよさに気づくこと（自信をもつこと）
- () 11. 予定などの変更慣れること
- () 12. 自分の行動を振り返ること
- () 13. 他者を模倣^{もほう}すること
- () 14. 教師との関係づくりに関すること
- () 15. 友達との関係づくりに関すること
- () 16. 表情や身振り、指差しなどのコミュニケーションの獲得に関すること
- () 17. 視覚的な手がかりを用いたコミュニケーション方法の獲得に関すること
- () 18. 自ら思いや考えなどを伝えようとする事
- () 19. 他者からの指示を受け入れること
- () 20. 他者と関わる際の約束やルールに関すること
- () 21. 行動や表情などから他者の心情を理解すること
- () 22. 発声や発語に関すること
- () 23. 言語理解に関すること
- () 24. 一人で課題や活動などを遂行できるようにすること
- () 25. （左右や大小などの）概念形成や概念理解に関すること
- () 26. 好きなもの（こと）や活動を選択すること
- () 27. 興味・関心を拓^{ひら}げること
- () 28. 得意分野を伸ばすこと
- () 29. 感覚面の過敏性に関すること
- () 30. 注意の持続に関すること
- () 31. その他（下記枠内に記入してください）

--

3-5-3. 3-5-2で選択した5つの指導内容について該当する指導形態にマルを付けてください。自立活動の指導の時間以外で「自立活動の内容を取り入れて指導している場合」は、該当する項目を選択してください。また、指導方法を記入してください。

注)「自立活動の内容を取り入れている場合」の「各教科と関連」は、「各教科と関連付けて指導」、「他領域と関連」は「他領域と関連付けて指導」を示しています。

3-5-2で 選択した 項目番号	時間における 指導の指導形態	自立活動の内容を 取り入れている場合	指導方法
例) 23	個別指導 集団指導 個別と集団両方	各教科と関連(教科名： 国語、算数) 他領域と関連(領域名：) 教育活動全体	手順表を用いて自分で内容を確認しながら作業や学習を進める。
	個別指導 集団指導 個別と集団両方	各教科と関連(教科名：) 他領域と関連(領域名：) 教育活動全体	
	個別指導 集団指導 個別と集団両方	各教科と関連(教科名：) 他領域と関連(領域名：) 教育活動全体	
	個別指導 集団指導 個別と集団両方	各教科と関連(教科名：) 他領域と関連(領域名：) 教育活動全体	
	個別指導 集団指導 個別と集団両方	各教科と関連(教科名：) 他領域と関連(領域名：) 教育活動全体	
	個別指導 集団指導 個別と集団両方	各教科と関連(教科名：) 他領域と関連(領域名：) 教育活動全体	

3-6-1. 自閉症のある児童生徒の自立活動の指導を（小）集団で行う場合、どのようにグループ編制をしていますか。該当する項目にマルを付けてください。

- () 1. 学級別
- () 2. 学年別
- () 3. 障害の状態別
- () 4. 自閉症のある児童生徒の課題別
- () 5. 児童生徒の相性を考慮
- () 6. グループ編制を行わず、複数の特別支援学級が合同で行っている
- () 7. その他 ()

3-6-2. 3-6-1で「6. グループ編制を行わず、複数の特別支援学級が合同で行っている」と回答した方にお尋ねします。グループ編制を行っていないのは、なぜですか。その理由をご記入ください。

--

3-7-1. 自立活動の指導の評価は、どの時期に行っていますか。該当する項目にマルを付けてください。

- () 1. 単元ごと
() 2. 学期ごと
() 3. 年度ごと
() 4. 評価を行っていない

3-7-2. どのような視点で自立活動の指導を評価していますか。該当する項目にマルを付けてください。《複数回答可》

- () 1. 自閉症のある児童生徒の個々のねらいに基づき評価している
- () 2. 活動全体の目標に基づき達成状況を評価している
- () 3. 自閉症のある児童生徒に達成状況を自己評価させている
- () 4. 教師自身の指導について自己評価している
- () 5. 家庭（保護者）に自閉症のある児童生徒の変容を確認してもらっている
- () 6. 評価の視点がわからない

3-7-3. 自立活動の指導の評価では、何を用いて行っていますか。該当する項目にマルを付けてください。

- () 1. 通知表
- () 2. 個別の指導計画
- () 3. 通知表と個別の指導計画の両方
- () 4. その他 ()

4-1. 在籍する自閉症のある児童生徒の実態や自立活動の指導について、校内で情報共有を行っていますか。該当する項目に○を付けてください。

- 4-2-1. 4-1で「1. 情報共有を行っている」と回答した方にお尋ねします。誰と情報共有を行っていますか。該当する項目にマルを付けてください。《複数回答可》

- 4-2-2. 4-1で「1. 情報共有を行っている」と回答した方にお尋ねします。どのような方法で情報共有を行っていますか。該当する項目にマルを付けてください。《複数回答可》

- 4-2-3. 4-1で「1. 情報共有を行っている」と回答した方にお尋ねします。情報共有を行う上での課題はありますか。該当する項目にマルを付けてください。《複数回答可》

- () 1. 特になし
- () 2. 時間の確保が難しい
- () 3. 教員間で児童生徒の実態の捉え方に違いがある
- () 4. 指導（指導目標、指導内容、指導方法）について共通理解することが難しい
- () 5. その他（)

V. 貴学級では自立活動の指導を行うにあたり、どのように保護者と連携をしていますか。「よくあてはまる・まあまああてはまる・あまりあてはまらない・まったくあてはまらない」のいずれか該当するものを選択し、マルを付けてください。

1. 保護者に自立活動の指導（指導内容や指導方法など）について説明している

よくあてはまる ・ まあまああてはまる ・ あまりあてはまらない ・ まったくあてはまらない

2. 保護者が自立活動の指導場面を見学する機会を設けている

よくあてはまる ・ まあまああてはまる ・ あまりあてはまらない ・ まったくあてはまらない

3. 家庭での子どもの様子を保護者と共有している

よくあてはまる ・ まあまああてはまる ・ あまりあてはまらない ・ まったくあてはまらない

4. 保護者の要望を自立活動の指導に反映させている

よくあてはまる ・ まあまああてはまる ・ あまりあてはまらない ・ まったくあてはまらない

5. 指導による子どもの変容を保護者に報告している

よくあてはまる ・ まあまああてはまる ・ あまりあてはまらない ・ まったくあてはまらない

6. その他（ ）

3－1で「1. 自立活動の指導の時間を週の時間割に位置づけて行っている」「2. 自立活動の指導の時間を設けず各教科や領域の中に取り入れて指導している」と回答された方は、これで質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

Ⅳ. 本調査票２ページのⅢ－３－１で「３. 自立活動の指導を行っていない」と回答した方にお尋ねします。自閉症のある児童生徒に対して自立活動の指導を行っていないのは、なぜですか。その理由をご記入ください。

--

Ⅴ. 校内での自閉症のある児童生徒についての情報共有についてお尋ねします。

５－１. 在籍する自閉症のある児童生徒の実態や指導について、校内で情報共有を行っていますか。該当する項目にマルを付けてください。

- ☐ １. 情報共有を行っている
- ☐ ２. 情報共有を行っていない

５－２－１. ５－１で「１. 情報共有を行っている」と回答した方にお尋ねします。誰と情報共有を行っていますか。該当する項目にマルを付けてください。《複数回答可》

- ☐ １. その他の特別支援学級の担任
- ☐ ２. (交流及び共同学習を行っている) 通常の学級担任
- ☐ ３. 特別支援学級の授業を担当する教科担任
- ☐ ４. 特別支援教育コーディネーター
- ☐ ５. 養護教諭
- ☐ ６. 支援員・介助員
- ☐ ７. その他 ()

５－２－２. ５－１で「１. 情報共有を行っている」と回答した方にお尋ねします。どのような方法で情報共有を行っていますか。該当する項目にマルを付けてください。《複数回答可》

- ☐ １. 個別の指導計画を活用している
- ☐ ２. 授業記録を活用している
- ☐ ３. 口頭でやりとりを行っている
- ☐ ４. 校内の電子媒体を活用している
- ☐ ５. その他 ()

５－２－３. ５－１で「１. 情報共有を行っている」と回答した方にお尋ねします。情報共有を行う上での課題は何ですか。該当する項目にマルを付けてください。《複数回答可》

- ☐ １. 特になし
- ☐ ２. 時間の確保が難しい
- ☐ ３. 教員間で児童生徒の実態の捉え方に違いがある
- ☐ ４. 指導 (指導目標、指導内容、指導方法) についての共通理解が難しい
- ☐ ５. その他 ()

Ⅵ. 貴学級では、自閉症のある児童生徒の指導を行うにあたり、どのように保護者と連携をしていますか。「よくあてはまる・まあまああてはまる・あまりあてはまらない・まったくあてはまらない」のいずれか該当するものを選択し、マルを付けてください。

1. 保護者に指導内容や指導方法などについて説明している

よくあてはまる ・ まあまああてはまる ・ あまりあてはまらない ・ まったくあてはまらない

2. 保護者が指導場面を見学する機会を設けている

よくあてはまる ・ まあまああてはまる ・ あまりあてはまらない ・ まったくあてはまらない

3. 家庭での子どもの様子を保護者と共有している

よくあてはまる ・ まあまああてはまる ・ あまりあてはまらない ・ まったくあてはまらない

4. 保護者の要望を指導に反映させている

よくあてはまる ・ まあまああてはまる ・ あまりあてはまらない ・ まったくあてはまらない

5. 指導による子どもの変容を保護者に報告している

よくあてはまる ・ まあまああてはまる ・ あまりあてはまらない ・ まったくあてはまらない

6. その他()

Ⅶ. 貴学級に在籍する自閉症のある児童生徒の指導についてお尋ねします。自閉症のある児童生徒を指導する際に、主に留意していることは何ですか。該当する内容にマルを付けてください。

- () 1. 衣服の着脱など日常生活習慣に関すること
- () 2. 生活リズムの確立に関すること
- () 3. 体調管理（食生活や健康）に関すること
- () 4. 公共機関や交通機関の利用に関すること
- () 5. 体の使い方、動かし方などの運動・動作技能に関すること
- () 6. 姿勢保持に関すること
- () 7. 手指の巧緻性^{ちゆうし}に関すること
- () 8. 人や場所が変わっても行動できるようにすること
- () 9. 自分の気持ちを落ち着かせる方法
- () 10. 自分のよさに気づくこと（自信をもつこと）
- () 11. 予定などの変更慣れること
- () 12. 自分の行動を振り返ること
- () 13. 他者を模倣^{もほう}すること
- () 14. 教師との関係づくりに関すること
- () 15. 友達との関係づくりに関すること
- () 16. 表情や身振り、指差しなどのコミュニケーションの獲得に関すること

- () 17. 視覚的な手がかりを用いたコミュニケーション方法の獲得に関する事
- () 18. 自ら思いや考えなどを伝えようとする事
- () 19. 他者からの指示を受け入れる事
- () 20. 他者と関わる際の約束やルールに関する事
- () 21. 行動や表情などから他者の心情を理解する事
- () 22. 発声や発語に関する事
- () 23. 言語理解に関する事
- () 24. 一人で課題や活動などを遂行できるようにする事
- () 25. (左右や大小などの) 概念形成や概念理解に関する事
- () 26. 好きなもの(こと)や活動を選択する事
- () 27. 興味・関心を拓ける事
- () 28. 得意分野を伸ばす事
- () 29. 感覚面の過敏性に関する事
- () 30. 注意の持続に関する事
- () 31. その他(下記枠内に記入してください)

--

ご協力ありがとうございました。